

強じ 驚金り強か税らいサに品ん別でつらが 微いてのな型ス満なう車車が
 がた私いに前でらになるーんビてな。、聞たばたん。い払たロイ思だ、持税こま
 出。はたよだきこ対「んビてな。、聞たばたん。い払たロイ思だ、持税こま
 来学税。つとるそすとだスらつだ消国いばここだ。な。に、ウーてな。の
 る校金。て思こ学る笑よのれてか費たたこをん。な。に、ウーてな。の
 こでに 負つと校誤つ。質、いら税ば事は吸な。んとなコイジい。ていと。の
 と教支 担てもに解たオを日る日の本4税る分ても。？当のナス持私おる事うか期
 、科え しい、通が。レ向常ん本で種、だ以い知。なかににつは店だに。とか
 私書ら てた病い解私は上生だ、類地ろ上たつ。額母感感。た、でけ対車思「
 たやれ もこ院部けは社さ活よ、最の方、税のた。税をに染染。ま支ですにいリ
 ち夕て らとに活たこの貢る基この税金ばばな、お。の想いたたのまう金税税ね
 兄ブ生 つ多通も。の貢る基この税金ばばな、お。の想いたたのまう金税税ね
 弟レ活 てくえ出税言献た盤の税負がここんひ盆。おしてら。数す消が金金てグ
 やツで いのる来金葉しめに整は担含税税だやにか帰。かてみ病家中後金税か。てたら
 祖トき る利こる。助聞い利用や一般重てば税ばてし。と私「い騒弟マすな父るそ親
 父をて こ用と。助聞い利用や一般重てば税ばてし。と私「い騒弟マすな父るそ親
 母使い と料も普けいたんさ公般重てば税ばてし。と私「い騒弟マすな父るそ親
 のつる を金、通がたんさ公般重てば税ばてし。と私「い騒弟マすな父るそ親
 医てと 知もあにあ瞬だれ共財いいこのこいた。母は払くぎがイらんはのれ
 療勉感 り税た勉る間かての源商る特中税た兄。は驚つらに新ナ不て言？は声

横
 手
 税
 務
 署
 長
 賞
 一
 向
 き
 合
 つ
 横
 手
 南
 中
 学
 校
 柴
 田
 大
 翔

気をわて間め私に心るは理しと のとれしをいした費
持支れまに、がおかこな解がでいだいて、持たて道の
ちえてだな私社金らとくしで、ろとういそつ。暮で負
にるは消りも会が感を、たき税い思よるんて私ら登担
も一い費た支人支謝意税。る金ろうりこないのし下、
な部な税いえに給し識金払よはなこ、と人なよや校安
つにいととるなき、しにわう、税と兄をもいうすが全
たながい思側つれ本、よなに私金がの知、人にくでに
。つ、うつのたる当払ついとたの大言り税も税すき綺
て私形た一とよにつてと支ち使切う、金い金るる麗
いがで。人きう支て生いえがいで通税がるにたこに
る払し私と、に援く活けて豊道はり金自か対めと歩
とつかもしき、がれがなくかにな社を分もしになき
知たお社てちそ必て豊いれでつい会払たして税どや
つお店会向んし要いかかて安いだ貢うちれ良金私す
た金をのきとてなるにらい心てろ献こをないはたく
らも通一合税、人人な払るし知うでと支いイ使ち整
嬉世し員え金いにたつうこたつかきはえ。メわが備
しのとるをつ確ちてのと暮た。る義てし、れ安さ
い中関し人納か実にいでをらこも務くかジて心れ